



14-12-2015

DOON UNIVERSITY, DEHRADUN
End Semester Examination, 2015

School of Languages

M.A. Integrated - Japanese

Course: SL-J 303: Reading Comprehension(Advanced)

Time Allowed: 3 Hours

Maximum Marks: 50

SECTION: A

(Total Marks = 9)

Q1.

(Marks 3)

私が農業問題について、あるフランス人に聞いたところ、彼は次のように答えた。
「あなたが農業の問題について、関心を持ったり、心配をしたりするのは当然だと思う。どんな国でも、食糧をちゃんと確保できなければ、独立できないんだ。なぜなら、食べ物がなかったら、生きていけないじゃないか。米、パン、麦、ミルク、肉なしでは生きられない。エレクトロニクス製品は便利でいいものだけれども、結局、テレビはなくても生きていけるんだよ。」
まさに、彼の言うとおりだ。「テレビなしでも生きていける」ということは、「テレビは食べられない。食べられないものをたくさん持っても、最後は役に立たない」ということである。私は何も言えなかった。

問題: 「言うとおりだ」はどういう意味ですか。類推してください。

1. 彼の考えは認めるが、私は賛成できない。
2. 彼の考えは完全に正しいので、私は反対できない。
3. 彼の考えは自分中心で、まったく私は反対である。
4. 彼の考えは完全に間違いで、私は機会があれば反論したいと思っている。

Q2.

(Marks 3)

今年も12月24日が来た。街はクリスマス一色だ。サンタクロース、クリスマスツリー、デコレーションケーキ。また12月はボーナスの季節でもある。デパートはクリスマスプレゼントをいっぱい並べて、父親たちのボーナスを待っている。クリスマスはデパートの金儲けのためだけに見える。「クリスマスイブ」の日本語訳は「聖夜」だ。だから、尊く厳粛なはずだ。ところが、酔っぱらいのドンチャン騒ぎ。飲み会が朝まで続く。最近では、静かにクリスマスの夜を、というホテルのディナーが流行している。軽薄な若者たちがそんなホテルの企業宣伝にだまされ、何万円もの金を払う。愚かなことだ。日本人はいつからクリスマスにバカ騒ぎをするようになったのだろうか。

クリスマスは外国の、しかも、キリスト教国の習慣だ。外国のものを食欲に取り入れて、自分のものにしてしまうのは悪いことではない。しかし、クリスマスのバカ騒ぎはいただけない。不謹慎、無節操。やめろとは言わないが、自分の姿をもう一度見直してもらいたい。

一色だ in an atmosphere(of Christmas)	金儲け money-making	聖夜 holy night
尊い holy	厳肅 severe	ディナー dinner
ドンチャン騒ぎ go on a spree	軽薄な frivolous	愚かだ foolish
貪欲に avarice	不謹慎 imprudence	無節操 inconstant

問題：TEXTの要点を簡潔にまとめた文はどれですか。

1. クリスマスは確かに日本のものではないが、実際は、大きなイベントと考えられているので、少しぐらいだったら、バカ騒ぎをしてもかまわない。
2. 外国のものを取り入れることは、いいことである。クリスマスに飲んで食べて大騒ぎするのも、一年に一度ぐらいはいいと思う。
3. 外国の習慣をまねするのは悪いとは言わない。しかし、そのまねのしかたが問題だ。不謹慎で無節操な日本人の態度をもう一度考えてもらいたい。
4. 日本人はキリスト教国ではないが、クリスマスの夜を祝うことは特に悪いことではない。反対に、それをやめろというのは間違っていると思う。

Q3.

(Marks 0.5*6=3)

日本のホテルや旅館に泊まると、大変おもしろいことに気がつきます。部屋の番号の終わりに4や9が使われていない場合があります。例えば、303号室の隣は305号室になっていたりします。また、ホテルなどでは、「4階」を「5階」に言い換えたり、アルファベットの「F」に書き換えたりします。また、4階は客室に使わないで、事務所などに使うこともあるようです。なぜかと言うと、4は「死」と発音が同じで、9は「苦」と発音が同じなので、日本では4と9を不幸な数字として嫌う人がいるからです。つまり「縁起が悪い」のです。

もちろん、これは迷信で、その部屋に泊まったら、なにか不幸なことが起こるわけではありません。しかし、例えば「404号室」に案内されたお客さんが「気持ちが悪いから、部屋を換えてくれ」と言うかもしれません。それならば、4や9を初めから使わない方が、旅館やホテルにとっては都合がいいのです。

問題：TEXTと内容が同じになるように、かっこに言葉を入れてください。

4という数字は、(1.)と発音が同じなので、日本では嫌われている。また、9は(2.)という漢字と発音が同じで、これも嫌がられている。したがって、ホテルや旅館などでは、(3.)にこの数字が使われていないことがある。

また、ホテルなどの階数も同様で、もし(4.)と書かれていたら、そこは4階である。もちろん、こんな考え方は、(5.)なので、心配する必要はないのだが、実際には嫌がる人がいるので、旅館やホテルもこの数字は(6.)とっているのである。

SECTION B

(Total Marks = 18)

Q.

(Marks 4)

食事は家族がそろって家でするのが一番だ。今日一日こんなことがあった、あんなことがあったと、わいわい騒いで食べるのがいいと私は思う。では、外食はしないのかというと、決してしないというわけではない。たまに外食をすることもある。すると、とても奇妙な光景にぶつかることがある。

昨日もその奇妙な光景を見た。今流行の「ファミリーレストラン」に行った。当然、家族連れが多かった。小さい子供からお年寄りまで、たいそうにぎやかだった。そこに夫婦と子供二人（小学生の男女）の家族が入ってきた。彼らが席に着くと、ウェイトレスが注文を取りに来た。母親がてきぱきと注文した。どうやら、まえもって決めてあったようだ。注文が済むと、みんな一斉に新聞や漫画を読み出した。だれも話をしようとしな。母親だけが何も読まず、夫や子供たちの様子をぼんやり眺めていた。確かに注文した料理を待っている間はたいくつである。特に話題がなければ、新聞や漫画を読むのもいいだろう。

しかし、何か変だ。学校での出来事、妻の一日の出来事、夫の会社でのおもしろい出来事など、話題がないことはないだろう。しかし、ほとんど口を利かないのだ。そのうちに、夫の注文した料理が来た。彼はぼそぼそと何か言って食べ始めた。続いてほかの人の料理も来て、みんなが食べ始めたのである。結局、食事が終わるまで、ほとんど会話は交わされなかった。

家族の団らんが茶の間から消えて久しいと言われている。昔は60ワットの裸電球の下で、貧しいけれど楽しい団らんがあった。もちろん、家族は千差万別で静かに食事をする家庭もあっただろう。食事中に父親が新聞を読んでいる家庭も多かっただろう。しかし、ファミリーレストランで見た家族のような「冷たい無関心」はなかった。彼らの心は漫画と新聞に集中していた。どうしてなのだろうか。

私は原因はテレビだと考えている。テレビが家庭の団らんを奪ったのだ。テレビは家族の会話を拒否する。一人一人の心はテレビに向いていて、ほかの人には向いていない。テレビとは会話をしているが、ほかの人とは会話をしていないのだ。だから、私の家では食事中はテレビを消している。どんなにおもしろい番組でも消す。大好きなプロ野球や時代劇を見られないのも残念だが、まず親が手本を示さなければならないと思っがまんしている。

てきぱきと quickly どうやら～ようだ seems likely to 口を利く talk
 ぼそぼそ slowly in undertone 団らん pleasure of a happy home 奪う take by force
 千差万別 (せんさばんべつ) いろいろな 拒否する reject
 時代劇 (じだいげき) period drama 手本を示す model, set a good example

問題：TEXTの要点を簡潔にまとめた文はどれですか。

1. 漫画や新聞を読むことは、子どもや父親にとっては、とても興味のあることなので、読むのをやめさせる必要はない。また、現代はテレビを見ながらわいわい騒いで食事するのは普通であり、テレビのスポーツ番組や時代劇はおもしろいから、それを無理にやめさせる必要はない。

2. 食事中に話をしないのは、特に話題がないからで、いいとか悪いとかいう問題ではない。話題がなかったら、話をしないのは当然である。もし話題がなかったら、プロ野球や時代劇を見ながら食事をしたほうが楽しい。

3. テレビがなかったころは、静かに黙って食事をする家もあったし、わいわい騒いで食事をする家も多かった。ところが、テレビが茶の間に入ってきて、子どもがテレビを見て騒ぐので、静かにご飯が食べられなくなった。だから、テレビを消して、本や雑誌を読みながら静かに食事をした方がいい。

4. テレビが家庭に入ってきて、茶の間の様子が確かに変わった。茶の間の会話がテレビ中心になった。テレビは家族の会話を奪い、家族同士を無関心にさせた。ファミリーレストランで見た家族の場合は、テレビが漫画や新聞に変わっただけである。

Q2

(Marks 14)

私は主人の転勤で現在マレーシアのクアラ・ Lumpur に住んでいます。主人は家電メーカーに勤めています。子供は三人でまだ小学生です。私は日本にいる時は、中学校の英語の教師をしていました。二年前、主人は突然、海外転勤を言われました。数週間の準備期間を与えられただけで、慌ただしくマレーシアに来ました。私は中学校の教師の仕事続けるか、主人といっしょにマレーシアに行くか、最後の最後まで決心がつかせませんでした。しかし、結局、退職しました。私が退職した最大の理由は、私が勤務する県では、休職が認められなかったことです。外の県では二年ぐらいの休職が認められているところもあります。しかし、もし、三年の休職が認められても、主人の海外勤務が二年で終わるという保証もありませんから、二年後にはまた同じ問題で頭を悩ますことになるのです。

また、もう一つの理由は、夫婦が別れて暮らすことに対する危機感です。やはり夫婦はいっしょに暮らすから夫婦なのだという両親の話は説得力がありました。それから、子供の教育も大きい問題でした。やはり、父親と母親がいなければいけないという気持ちは強かったです。このような経緯があって、私は仕事を捨てて、家族を取ったのです。

このような私の体験談を、ある女性の集まりの中で話しました。この女性の集まりというのは、私が今住んでいるアパートの主婦たちで作っている集まりです。ほとんどが西洋人で時々日本人や地元の人も来ます。英語を使わなければならないのがつらいのですが、半分英語の勉強をかねて出席しています。

ところが、たまたまこの集まりに参加していたあるアメリカ人の奥さんは、私の話を聞いて、理解できない、どうして戦わないのだと強く言ったのです。このアメリカ人の奥さんは現在アメリカで広告の仕事をしていて、それで、ご主人のマレーシア勤務には

いっしょに来られないから、年に何回か休暇を取って、マレーシアに来ているのだそうです。しかし、父親がいっしょにいないのは子供の教育によくはないこと、夫婦が別れて暮らすのはよくないことなどの理由で、本当は、やはり家族全員でマレーシアに来て住みたいんだと言っていました。

現在、彼女はご主人の会社と交渉をしているとも言っていました。彼女の言い分はこうです。会社の命令でご主人が海外転勤させられるのはしかたがない、しかし、その転勤で彼女が仕事を辞めなければならないのであれば、ご主人の会社は彼女の仕事に対し、なんらかの補償をするべきだというものです。補償が認められたら、家族全員でマレーシアに住むんだと明るく言っていました。

私は彼女のしなやかな強さと明るさに圧倒されました。もし、私か主人が彼女と同じことを主人の会社に要求したら、どうなるでしょうか。会社はそんなこと今まで聞いたこともない、と一蹴されるでしょう。また、うるさいことを言うのなら、外の人に行ってもらおうということにもなるでしょう。その結果、会社での主人の立場も非常に悪くなるでしょう。

だいいち、そんな交渉をしようなどという人も発想もないだろうなというのが私の正直な気持ちでした。

決心がつかない be hesitating what to do 休職する temporary retirement
頭を悩ます rack one's brain 経緯 details
半分~かねて 半分は~をするために
なんらかの any 補償 compensation しなやかな flexible
一蹴する refuse だいいち for one thing

問題: TEXT を読んで次の質問に答えなさい。

1. この日本人女性が仕事を辞めて夫といっしょにマレーシアに来た理由は何ですか。 (3)
(a)
(b)
(c)
2. この日本人女性の話を聞いたアメリカ人女性の反応はどうでしたか。 (3)
3. このアメリカ人女性は本当は家族といっしょにマレーシアに来たいのですか、来たくないのですか。また、その理由は何ですか。 (3)
(a) (来たい 来たくない)
(b) 理由:
4. このアメリカ人女性はどんな条件ならマレーシアに来ると言っていますか。 (3)
5. もしこの日本人女性が日本でアメリカ人女性のような行動や要求をしたら、結局どうなるだろうと言っていますか。 (2)
(a)
(b)

SECTION: C

(Total Marks = 23)

Q1

(Marks 5)

一年に一度ぐらい生活から解放される日があってもいいのではないかといつも思う。

私たちは日々仕事に追われ、子供の教育に悩まされ、近所のおつき合いに気がつかない、心も体も疲れ切った毎日を送っている。みんな休みたいと思っているけれど、なかなか休ませてもらえない。現代人の多くは「忙し病」にかかっている。だから、一年に一度ぐらい、忙しい毎日を忘れて、のんびり休日を過ごすことが必要である。

「のんびり休日を過ごす」というのは、特に何かをすることではない。簡単に言えば、何もしないのだ。例えば、海に行き、砂浜で長椅子に横になり、一日中、空と海を見て過ごす。海に行く金がない人は、近くの公園に行き、ベンチに座って、花や木々を眺める。とにかく、頭の中を空っぽにするのだ。

ところが、「忙し病」の人は、このような時間の使い方ができない。休日の間でも、普通の日と同じように、きちんと予定を立てて忙しく過ごさないと、退屈してしまう。暇であることに耐えられないのだ。悲しい習性である。

耐える bear, stand

問題：TEXTと内容が同じになるように、かっこに言葉を入れてください。

多くの現代人は(1.)にかかっている。職場では(2.)に追われ、家庭では(3.)に悩み、近所では(4.)に気がつかない。ところが、このような人は、(5.)をもらっても、いつものように、(6.)を立てたり、(7.)過ごしたりしてしまうのだ。

実際、彼らに必要なのは、例えば、海に行き、(8.)を一日中見て過ごすとか、公園に行き、(9.)でも見るとかなどだ。とにかく、(10.)が必要なのだ。

Q2

(Marks 9)

「日本の農業が危ない！」と言われても、それがすぐ理解できる人は少ないだろう。スーパーマーケットにはカラフルなパッケージに包まれたいろいろな食品が並べられ、食事もかなり豊かだ。飢えで苦しんでいる人は、日本にはまったくいない。しかし、その豊かさは見せかけのものにすぎないのだ。食糧の自給率を見れば、それがはっきりする。米が自給率100%、野菜が90%で十分だが、魚、果物、砂糖の自給率はそれぞれ64%、59%、35%である。更に、小麦の自給率は10%で、残りは輸入だ。大豆も自給率4%しかない(大豆は味噌やしょうゆの原料で、これがないと日本人はとて困る)。牛の飼料になるトウモロコシは100%輸入である。食糧全体では、計算のしかたによって若干の違いがあるが、大体50%前後である。

つまり、豊かに見える日本のスーパーマーケットの食品や日本人の食事は、その半分は外国の農産物に頼っているのである。

問題1：下線「その豊かさはみせかけのもの」とは、どういう意味ですか。

1. 豊かに見えるが、本当は豊かではない。
2. 本当に豊かで、それはだれが見てもすぐにわかる。
3. 豊かそうには見えないが、実は豊かだ。
4. 豊かであることを人に見せようとする。

問題2：下線「日本の農業が危ない」とは、どういう意味ですか。

1. 日本で生産した食糧は大変危険であるから、外国人は買わない方がいい。
2. 小麦や大豆など外国から輸入したものは、危ないから食べない方がいい。
3. このままでは日本の農産物はすべて輸入となり、日本の農業がなくなってしまう。
4. 日本は農地がせまく食糧の自給率も低いから、外国から農産物を買った方がいい。

問題3：TEXTの内容を正しく表したものはどれですか。

1. 日本の農業は米や野菜だけでなく、魚、果物、砂糖も十分に国内で生産しているので、外国から輸入する必要はまったくない。
2. 日本の農業は小麦やトウモロコシ、また大豆も輸入がほとんどである。また、米や野菜も輸入が多く、食糧全体の半分を輸入に頼っている。
3. 日本の農業は米や野菜の外には、自給できるものがない。魚や果物や砂糖は国内でも何%かは生産されているが、小麦や大豆などはほとんどが輸入である。
4. 日本の農業は全体的に見て、輸入が半分である。特に、小麦、魚、野菜の輸入が多い。また、大豆、トウモロコシは100%輸入である。

Q3

(Marks9)

近頃は便利な機械が増えて、ずいぶん生活が楽になった。特に通信機器の発達はめざましいものがある。例えば、電話、ファックス、コンピュータなどである。しかし、ちょっと考えてほしい。便利であることは、本当にいいことなのだろうか。便利さは私たちを本当に幸せにしてくれるのだろうか。

昔は、こちらの用件は手紙で知らせるのが一般的だった。日本国内ならば数日間、外国ならば一週間以上はかかる。往復すれば、その二倍の時間がかかる。その間、ゆっくり待っていてもいいし、ほかの仕事をしていてもいい。時間がたくさんあるから、心も落ち着き、生活にゆとりがあった。しかし、今は違う。Eメールは一秒で来る。すぐに来るから、もらったらずくに返事を書かなければならないような気持ちになってしまう。とても忙しい。

確かに、便利な機械ができて、仕事は速くたくさんできるようになった。しかし、いつも機械に追いかけていて、心の安まる時間がないのも事実だし、実際、そのような人が多い。便利な機械ができたので、昔だったら、しなくてもよかったことを、たくさんしなればならなくなったようだ。これは実は不幸なことなのである。

問題1：TEXTで筆者が言いたいことは何ですか。

(3)

1. Eメールはどこにいてもすぐに来るので、早く返事を書いたほうがいい。
2. 通信機器の発達によって、私たちは便利で幸せになったように見えるが、本当は、生活にゆとりがなくなって、不幸になったのである。
3. 通信機器の発達によって、私たちは忙しくなったが、実は便利で幸せになったのである。
4. 昔は、相手に用件を伝えるのに何日もかかったが、今は電話やEメールで速く知らせることができるので、大変便利で幸せになった。

問題2：通信機器の発達によって、私たちは便利で幸せになったように見えるが、本当は、生活にゆとりがなくなって、不幸になったのである。どう思いますか。

(3)

問題3：昔は、相手に用件を伝えるのに何日もかかったが、今は電話やEメールで速く知らせることができるので、大変便利で幸せになったと思いますか。

(3)